

事業所用放課後等サービス評価（職員アンケート）に結果に基づく
課題解決検討会議まとめ

かどるあつぷ

実施日時 : 平成31年3月15日 14:00～

実施方法 : アンケート結果において「分からない」が6以上の項目については、担当者より説明。
「どちらともいえない」「いいえ」が6以上の項目を事業所課題と捉え、改善に向けた意見を
出し合う。

【1.利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか】

【アンケート結果】

はい	2
どちらともいえない	9
いいえ	2
分からない	0

【意見】

- ・利用者の人数が多い日は、支援室のスペースが狭く感じる時がある。
- ・個室対応、宿題などで静養室、相談室、カフェを有効活用しているが、身体を動かしたい利用者があると、特に冬季は狭く感じる。
- ・限りあるスペースを有効に使っていると思う。個々の特性や、活動内容で、個別対応やグループ分けがされ工夫されている。
- ・利用者の多い日（10名以上）や集団活動内容によっては狭く感じる時がある。支援室以外の部屋の利用で対応できている。
- ・支援室以外の部屋も利用して個に応じた支援ができているが、集団活動の時は活動内容によっては支援室が狭く感じる。
- ・医ケア室、相談室、静養室などを使用すれば十分かと思われる。
- ・毎日10人以上ご利用のため、個別活動は、相談室、カフェなど、個室に分かれてなんとかできているような気がするが、みんなでやる活動はやや狭いと感じる。
- ・贅沢を言えばきりがないと思う。基本の支援室、相談室、静養室に加え、医ケア室、カフェ、そして廊下も使えるので適切と思う。（夏休みは別として。）
- ・利用者の特性や利用人数、また、時間帯によっては支援室だけでは不十分と感じる。他の部屋をうまく活用することで対応はできている。
- ・動き回る子どもには、もっと広いスペースがあると良いと思う。
- ・複数の部屋を活用しているが、静かなスペースが取れない時がある。
- ・団体活動、個別活動を行うには適切であるが、イベント等の活動を行うにはもう少し広いスペースが欲しい。

【検討結果】

面積は基準通りである。利用人数や、活動内容によって、空きスペースを活用している。

【2.職員の配置数は適切か】

【アンケート結果】

はい	5
どちらともいえない	7
いいえ	0
分からない	1

【意見】

- ・生活介護の職員等に支援をお願いすることもあるので、利用者が多い日は放課後職員だけでは不足と感じる。
- ・マンツーマン対応の利用者が多かったり、支援に入れない職員がいるとき少ないと感じることがある。
- ・ご利用者の受け入れからおやつまでは人数は必要だが、そのあとの自由時間の時は、職員数はむしろ多い気がする。
- ・制度上から言えば適切に配置してあると思うし、これも贅沢を言えばきりがなく、ごく忙しい時は別として適切だろうと思う。
- ・今年度中の職員の補充で、なんとか安全に適切に対応できるようになったと思う。
- ・マンツーマンの利用者も多いので、日によって足りないことがある。
- ・その日の利用者の特性や人数にもよるが、おおむね職員数は適切であると思う。事業所全体で、職員同士協力し合っている。
- ・手が多く必要とする時間帯は確かにあるが、多くいれば良いということではない。
- ・その日の利用者によるが、学校数が多くなると迎えに出る職員が多くなり受け入れが不足する。
- ・利用者定員に対し適切に行っていると思う。
- ・少なく感じることもあるが、基本的に十分だと思う。1対1の支援が多すぎるように思う。

【検討結果】

その日の利用者の状況や、受入～個別支援までの、支援が集中する時間帯など、施設全体の職員のヘルプなどで工夫している。今後も、研修や休暇が重ならないような配慮を行い、事故なく利用者に満足して頂ける支援を心がける。

【3.第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。】

【アンケート結果】

はい	2
どちらともいえな	0
いいえ	6
分からない	5

【意見】

- ・育成会会員より、評価を頂いている。
- ・第三者委員会の人選等の話を聞いているので、改善につなげていると思うが正確には分からない。
- ・外部評価は受けていない。

【検討結果】

法人代表が、県の第三者評価に関する研修や講演会に参加し、前向きに検討している。

【4.放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか】

【アンケート結果】

はい	0
どちらともいえな	1
いいえ	10
分からない	2

【意見】

- ・交流はしていない。
- ・放課後の短い時間ではどうしても他との交流は難しいと思う。
- ・分からないが、交流がないと思われる。近くの児童クラブの子ども達と一緒に活動する機会があると良い。
- ・検討していきたいと思う。

【検討結果】

学校早上がりの際、育成センターにおいて活動を行ったが、交流を行うまでには至らなかった。高齢者施設訪問に加え、学校長期休暇中に利用者の特性を考慮しながら、近隣の児童クラブ等との交流を行ってみたい。

【5.緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか】

【アンケート結果】

はい	6
どちらともいえな	4
いいえ	2
分からない	1

【意見】

- ・子どもの事故やけが、健康状態の急変が生じた場合は、事業所で作成された緊急事態への対応マニュアルに沿って、保護者、主治医への連絡等、速やかに対応、実施に努めている。
- ・内部研修は行っているが、保護者への周知はできていないと思う。
- ・職員には周知しているが、保護者に対しては周知されていないと思われる。掲示板等にマニュアルを掲示するのはどうか。
- ・マニュアルを元に研修も行っている。
- ・マニュアルはあるが、全職員が熟知しているとは思わない。保護者にも積極的に伝えていない。
- ・職員にはそれぞれの研修会で、周知できていると思われる。保護者には、「おたより」でマニュアルのあることは知らせているが、周知までには至っていない。
- ・職員には周知しているが、保護者へのアンケートから保護者への周知不足を感じる。

【検討結果】

マニュアルの整備はできていて、契約の際、保護者への説明をおこなっているものの、周知はされていないとの認識がある。周知徹底するために、おたより等を活用し、マニュアル開示を積極的にPRする。また、マニュアルを元にした研修も定期的に行う。

【4.放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか】

【アンケート結果】

はい	0
どちらともいえな	1
いいえ	8
分からない	4

【意見】

- ・交流はしていない。
- ・放課後の短い時間ではどうしても他との交流は難しいと思う。
- ・分からないが、交流がないと思われる。近くの児童クラブの子ども達と一緒に活動する機会があると良い。
- ・検討していきたいと思う。

【検討結果】

学校早上がりの際、育成センターにおいて活動を行ったが、交流を行うまでには至らなかった。高齢者施設訪問に加え、学校長期休暇中に利用者の特性を考慮しながら、近隣の児童クラブ等との交流を行ってみたい。

【5.食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか】

【アンケート結果】

はい	3
どちらともいえない	3
いいえ	3
分からない	4

【意見】

- ・食物アレルギーのある利用者の一覧を作成し、職員に周知しているが、医師の指示書を必要とする利用者がいない。
- ・アレルギーのある方のリストを表示している。おやつに気をつけている。(エビ、卵など)
- ・医師の指示書があるのかは分からなかった。
- ・アレルギーを持つ利用者は把握している。特に医師の指示書はもらっていない。(重篤な利用者はいない)
- ・職員全員に共有してもらおう。
- ・食物アレルギーはしっかり把握している。
- ・食物アレルギー表があるが、医師の指示書に基づくか分からない。
- ・医師の指示書はないが、家族からの情報はもらっている。

【検討結果】

食物アレルギーのある4名について、保護者に聞き取りを行い再度状態確認をした。

特に医師から指示書をとっていたり、必要とする対象利用者はいなかったが(改善された、自立している、おやつ不提供等)

今後とも十分配慮していく。

以上の結果を全体会議において全職員に周知し、共通理解をしました。